

令和 6 年度

つるがしまだいいち

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校

交流体験



第 4 学年

特 色

- パリパラリンピック 2024 にやり投げで日本代表選手として出場した山崎晃裕選手は、鶴ヶ島第一小学校の卒業生。先天性疾患による右手関節部の欠損と向き合いながらパラアスリートとして活躍している。「困難な出来事をどう乗り越えてきたか」「あきらめずに夢や目標を叶えるためにどうしてきたか」を本人の経験をもとに講演していただく。共生社会への気づきや学びの機会を児童に提供する活動である。

児童の感想

- 「障がい」の有無に関係なく、一人一人が可能性をもっていることに気づいた。また、目標を叶えるためには、苦手なことも楽しみながら取り組むことが大切であることを学んだ。

成 果

- パラアスリート本人が経験してきた夢や目標をもつ価値と重要性について直接話を聞くことで共生社会について学びを深めることができた。また、多様性を認め合うことについて学ぶことができた。